

## 腐敗防止ポリシー

### 1.0 目的

Stericycle, Inc.はビジネス慣行および業務倫理規範に定められている通り、業務において最高水準の誠実性を維持しすることに全力を傾けています。これにはStericycleが営業する地域で適用される法律や規制への準拠を含み、そのような法律や規制には連邦海外腐敗行為防止法（「FCPA」） 2010年英国贈収賄防止法（「贈収賄防止法」）、カナダ外国公務員汚職防止法（「CFPOA」）、ブラジル企業腐敗防止法（その他の腐敗防止法と総称して「反汚職法」）。これらの法律、および世界中のさまざまな地方の法律は、政府関係者、顧客、または政党に対し直接または間接的に、支払いや何らかの価値の提供を行うことを禁止または制限するものです。この方針の目的は、Stericycle、関連会社、および子会社が反汚職法を遵守するための行動基準を提供することにあります。

### 2.0 範囲

本ポリシーはStericycle, Inc.、被支配事業体、子会社、支部（総称して「Stericycle」）の全チームメンバーおよび役員、そして当てはまる場合はStericycleビジネスパートナーに適用されます。Stericycleの支配下でない団体に関して、Stericycleは本ポリシーもしくは同様のポリシーおよび関連プロセスを適用するよう最善の努力をします。

Stericycleチームメンバーは本ポリシーを読み、理解し、準拠する責任があります。

企業価値と世界的なビジネス信用へのコミットメントのため、Stericycleは特定の状況において法律で要求されるよりも厳格なアプローチを採用しています。個々のStericycleの団体はビジネス礼儀のより限定的なルールまたはガイドラインを採用することができますが、少なくともこのポリシーに従う必要があります。また、地域の法律が本ポリシーの規制よりも厳しい場合は法律が優先され、準拠されなければなりません。

### 3.0 定義

**反汚職法** 経済協力開発機構（OECD）条約の国際商取引における外国公務員贈賄撲滅条約（以下「OECD条約」）の施行を指し、これにはFCPA、贈収賄防止法、CFPOA、ブラジル企業腐敗防止法、その他のStericycleが運営する国で適用される腐敗防止法が含まれる。

**価値のあるもの** 「価値のあるもの」という用語は広い範囲で解釈され、これには現金や現金相当の品（例、小切手、マネーオーダー、債券、ギフトカード）、出張費、エンターテイメント、雇用、食事、贈答品、景品、教育費、サービス、慈善寄付、政治献金、社会的、ビジネス的立場の強化などの無形の利益など、受取人にとって価値のある何らかのもの、もしくは受取人にとって金銭的やその他の価値を構成するものを指すが、これらに限定されるものではない。

**慈善寄付** Stericycleの基金、施設、サービスなどに行われる寄付を含む。また、

Stericycleの事業に影響を与える個人資金の寄付も含まれる。

**被支配事業体** Stericycle, Inc.が直接または間接的にその利益（もしくは資本または受益権）の50%以上を獲得するか、理事会またはその他の委員会で議席の50%以上を占めている団体、もしくは黄金株などStericycleが何らかの支配権を所持している団体。

**顧客** Stericycleの現在の顧客および見込みの顧客すべてを含み、それら現在および見込みのStericycle顧客の所有者、株主、従業員、取締役、役員、担当者も含まれる。

**ファシリテーション・ペイメント** 支払人が通常受ける権利があり、一般的に公務員によって行われる、日常的で非裁量的な行政措置の迅速かつ円滑な実行のために、公務員に対して支払われる少額の金銭を指す。「袖の下」と呼ばれることもある。

**政府関係者** 政府や政府の部門、省庁、もしくは機関の代理人、役人、役員、取締役、従業員（病院、NATO、大学など政府所有、運営、支配の団体の役員、取締役、従業員が含まれるが、それに限られるものではない）、もしくは公的な国際機関の関係者、もしくはそのような政府、省庁、機関、公的機関、公的な国際機関において公的能力を有する者を指す。これには政治事務所の候補者が含まれる。

本ポリシーにおいて政府関係者は広く定義されており、公選や指名された政府関係者のみではなく、政府が所有もしくは管理する団体で商業的に活動する従業員、第三者機関、契約社員（例、政府所有の病院の会計担当者、州立大学の講師など）も含まれることが重要となる。政府関係者に関する詳しい例は付録Aを参照。

**第三者機関** 役職に関わらず (i) 当社に商品やサービスを提供する、(ii) 当社の代理人となる、(iii) 当社を代表して行動する、もしくは (iv) 当社と共同で行動する非従業員もしくは第三者を指す。第三者機関によって提供されるサービスにより、そしてそのような機関がStericycleを代表してその裁量で行動する場合、その機関は下に定義されるハイリスク業者となる。

**ハイリスク業者 (“HRV”)** Stericycleを代表して政府機関やその役人や従業員と関わる、もしくはStericycleを代表して政府機関や政府関係者に支払いを行う第三者の代理人（すなわちコンサルタント、輸送業者、販売業者、税関職員など）を指す。詳しい例は付録Aを参照。

**ホスピタリティ費用** 通常一泊以上の出張の交通、宿泊、食事、エンターテイメントに関連する費用。

#### 4.0 所有・責任

本ポリシーの所有者は経営倫理担当者となります。本ポリシーに関するご質問は経営倫理部門 [ethicsandcompliance@stericycle.com](mailto:ethicsandcompliance@stericycle.com)へお問い合わせください。

#### 5.0 ポリシー声明

## 5.1 禁止されている支払い

Stericycleはいかなる理由であっても賄賂の支払いや受け取りを完全に禁止しています。直接的か間接的かに関わらず、Stericycleチームメンバー、役員、第三者機関は、政府関係者、顧客、その他の人物に対し、不適切な事業上の優位性を確保したり、Stericycleのために事業を取得したり維持をする目的で価値のあるものの提供、約束、提供の示唆、承認をすることは禁止されています。

Stericycleチームメンバー、役員、第三者機関は、その一部またはすべてが公務員に提供される、もしくは不適切な目的で使用されているという「知識」がありながら、いずれかの相手に価値のあるものの提供、約束、提供の示唆、承認をすることは禁止されています。ここで使用される「知識」とは、(i) 不適切な支払いが行われることを認知していること、(ii) 不適切な支払いが行われる確率が高いことを認知していること、もしくは(iii) 不適切な支払いが行われる確率が高いことを認知している理由を指します。知ることの拒否、無知、意識的な無視、意図的に目をつぶることは、本ポリシーの目的上、「知識」として扱われます。

同様にStericycleチームメンバー、役員、第三者機関は Stericycleが企図した、またはStericycleによって締結された取引に関連して、賄賂、リベート、またはその他の不適切な利益を直接的または間接的に募集、受諾、受け取りをすることは禁止されています。

公務員、人員、顧客、その他の人物が価値のあるものをStericycleチームメンバー、役員、第三者機関に求めた場合、そのような要求は拒否され、すぐに経営倫理部門（OEC）もしくは法務担当者に報告される必要があります。

## 5.2 安全な支払い・脅迫要求

本ポリシーの違反行為の弁明として、受取人による支払いの要求や脅迫は正当性のある主張として認められません。

人命に危険が及ぶようなごくまれな状況の場合、Stericycleチームメンバー、役員、第三者機関は公務員やその他の人物に支払いをすることが必要となることがあります。このような状況下で行われた支払いは本ポリシーの違反とはなりません。OECもしくはStericycleの総合委員会への報告は必須となります。また、Stericycleの帳簿もしくは記録に適切に反映されるよう、Stericycleチームメンバー、役員、第三者機関は経費報告書に正確にその支払の詳細を記す必要があります。

## 5.3 ファシリテーション・ペイメント

FCPAやCFPOAなど特定の国の法律でファシリテーション・ペイメントは許可されていますが、Stericycleのポリシーはより厳格です。贈収賄防止法を含むほとんどの国の法律でファシリテーション・ペイメントは禁止されているため、Stericycleはファシリテーション・ペイメントの支払いを許可していません。

## 5.4 ホスピタリティ費用

本ポリシー5.1項および反汚職法の下、特定の状況における公務員、顧客、その他の人物に対するホスピタリティ費用の支払いは禁止されているとみなされます。

公務員に利益をもたらすビジネスエンターテイメントを含むすべてのホスピタリティ費用は、支社長（国）もしくはその指名人および経営倫理部門の両方に事前の書面による承認を得る必要があります。その際は事前承認プロセスに従う必要があります（ビジネス儀礼ポリシー5.5項を参照）。

その他のStericycleポリシーや業務倫理規範と同様、受取人にかかわらずホスピタリティ費用はすべて以下の要件を満たす必要があります。

- 地域の法律に準拠していること。
- 合理的で真正かつ正当な事業目的のためのものであること。
- Stericycleの帳簿および記録に適切かつ明確に記録され、適切に文書化されること。
- Stericycleのビジネス儀礼ポリシーおよび本ポリシーの付録Aとして添付されるガイドラインに準拠していること。

## 5.5 贈答品と販促品

たとえそれが多くのビジネス文化で習慣とされていることでも、公務員、顧客、その他の人物に贈答品を提供することは本ポリシーおよび反汚職法で禁止されている支払いと見なされ、違反となることがあります。よって、公務員、顧客、その他の人物に贈答品を提供したり、それを示唆することは以下のガイドラインの対象となり、その他のStericycleポリシーや倫理的事業慣行による審査を受けます。

公務員に提供もしくは提供を示唆される贈答品と販促品は、支社長（国）もしくはその指名人および経営倫理部門の両方に事前の書面による承認を得る必要があります。その際は事前承認プロセスに従う必要があります（ビジネス儀礼ポリシー5.5項を参照）。

その他のStericycleポリシーや業務倫理規範と同様、受取人にかかわらず贈答品と販促品はすべて以下の要件を満たす必要があります。

- 地域の法律に準拠していること。
- 数量と価値が適切であり、正当な事業目的もしくは状況で提供されること。また、50米ドル（もしくは現地通貨で相当価格）を超えないこと。

- Stericycleの帳簿および記録に適切かつ明確に記録され、適切に文書化されること。
- Stericycleのビジネス儀礼ポリシーおよび本ポリシーの付録Aとして添付されるガイドラインに準拠していること。

## 5.6 政治献金

一般的に、Stericycleは、Stericycle PACを通じて主に行われるのでない限り、直接的にも間接的にも政党や候補者に対し献金と見なされるような支払いや支援を行うことはありません。Stericycleチームメンバーは個人の範囲で政党や候補者に献金を行うことは自由ですが、そのような個人献金はStericycleと関連付けられるべきではなく、本ポリシーと矛盾するような行為であってはなりません。

## 5.7 慈善寄付

Stericycleでは、慈善寄付は正当な慈善団体にのみ適切な慈善目的で行われることを保証する必要があります。そうでない場合、本ポリシーもしくは反汚職法違反となる可能性があります。Stericycleの資金を使用して、もしくはStericycleを代表して行われる慈善寄付は、経営倫理部門による事前の書面による承認が必要となります。

## 5.8 個人の寄付や支払い

本ポリシーはStericycleチームメンバーや役員が個人的な理由で、個人的な資金を寄付することを禁止するものではありません。その場合、Stericycleチームメンバーもしくは役員は自身の資金を使ってStericycleを代表、もしくはStericycleの利益になる寄付を行うことはできません。そのような行為は本ポリシーの違反となります。

## 5.9 記録および内部会計

Stericycleチームメンバーは、Stericycleの帳簿と記録（すべての形式のビジネス文書を含む）が正確かつ公正に、合理的な詳細で資産のすべての取引と処分を反映していることを保証する責任があります。会計記録やその他の取引記録は完全かつ正確でなければなりません。

Stericycleのチームメンバーは、会計またはその他の業務記録の改ざんを行うことはできません。すべての記録は、報告される取引の実際の実事および性質を反映している必要があります。

どのような目的でも、未公開または未記録の資金または資産の確立、もしくは維持をすることはできません。

Stericycleチームメンバーは、完全で正確な記録を確実にし、質問、懸念、疑わしい会計記録があった場合は適切な上司または部門に報告し、会計上の問題の管理と対応に積

極的に取り組む必要があります。Stericycleチームメンバーは、Stericycleの監査人の質問にも真摯に答える必要があります。経営陣がStericycleのポリシーに準拠し、倫理的にすべての取引を認識し、指揮しているという合理的な保証を得るには、適切な内部統制を維持する必要があります。

### 5.10 第三者機関

本ポリシーで禁止されている賄賂やその他の支払い、第三者機関によって間接的に当社を代表する形で、もしくは当社の利益になる形で行われることはできません。第1項で示されている通り、本ポリシーは、直接的か間接的に関わらず、それが公務員、顧客、その他の人物に不適切な目的で一部分かその全てを提供、提供を示唆、約束されることを知りながら、金銭や価値のあるものを第三者に提供することを禁止しています。

新しく第三者機関とやりとりをする場合、Stericycleチームメンバーは次のことを行うことが求められます。

- 評判、経験、事業の倫理慣行、そして本ポリシーで設定される原則に従って事業を行う意思があるかどうかを基本として第三者機関を選択する。
- 第三者機関に当社の賄賂禁止の方針、および第三者機関がすべての反汚職法に準拠するよう期待する当社の要請を伝える。
- 第三者機関より、適用される反汚職法の遵守についての保証を得る。
- 第三者機関の同意を得ることを含む伝達と、業者に対して行われたデューデリジェンスの記録を保持する。

Stericycleチームメンバーは、第三者機関を使用する前に合理的な反汚職調査を実施し、第三者機関が汚職に従事しないという合理的な保証を得る必要があります。調査は第三者機関によって実施されるサービスの性質、第三者機関との過去の経験、サービスが実施される国、特定の懸念事項に基づく潜在的なリスクに見合ったものである必要があります。

以下に当てはまる第三者機関の場合、チームメンバーは関与を始める前に経営倫理部門に追加のデューデリジェンスについて相談する必要があります。

- 第三者機関に関連のない銀行口座や団体に支払いをするよう要請している。
- 適用される反汚職法に準拠する保証の提出をしなかったり、拒否する。
- ハイリスク業者 (HRV) と見なされる – (例、国有である第三者機関、もしくはStericycleを代表して政府関係者や公務員への支払いや決済プロセスを行う業者) ハイリスク業者と見なされる第三者機関には追加のデューデリジェンスが必要となります。HRVはハイリスク業者デューデリジェンス手順 (付録Bを参照) に従

い、経営倫理部門の審査を受けなければなりません。

第三者機関との契約は書面で行い、提供されるサービスについて合理的な詳細を明記する必要があります。使用期間と範囲は正当なビジネス上の必要性和一貫していなければなりません。このような契約には、経営倫理部門と法務部が提供する適切な腐敗防止の表現が含まれてる必要があります。

### 5.11 合併企業、統合と買収

Stericycleはすべての合併企業が帳簿と記録を正確に作成、保持し、内部会計管理システムを採用、実施することを保証するものとする。

合併企業、統合、買収に参入する前に、Stericycleはリスクベースの腐敗防止デューデリジェンス調査と、法務部および経営倫理部門より取引の書面による承認を得ることを含む、その他の統合・買収前後に必要な手順を踏むものとします。Stericycleは相手にその法律の影響下にあるかどうかにかかわらず、合併事業、統合または買収の相手が反汚職法を遵守し、従うことに同意することを合理的に保証するための措置を講じるものとします。

### 5.12 トレーニング

Stericycleは本ポリシーおよび反汚職法に関するトレーニングを、Stericycleのチームメンバー、役員、必要に応じて適切な第三者機関に定期的に提供します。Stericycleに代わり、経営倫理部門はその役割と責任により、特定の人員に特別な追加の研修を受けることを要求することがあります。また、経営倫理部門は特定の第三者機関に対し腐敗防止訓練を受けるよう要請することがあります。

## 6.0 施行

### 6.1 報告手順

Stericycleチームメンバーおよび役員は全員、本ポリシーおよび反汚職法への違反、もしくは違反が疑われる事例について報告をする義務があります。

違反もしくは違反が疑われる事例は経営倫理部門に報告するようにしてください。違反もしくは違反が疑われる事例について報告を受けたマネージャーもしくはその他の個人は、迅速に経営倫理部門に報告する必要があります。StericycleチームメンバーはStericycle Ethics Lineを通じて匿名で問題や懸念を報告することができます。電話番号はStericycleの業務倫理規範に記載されています。

業務倫理規範に記載されている通り、Stericycleチームメンバーが業務遂行や倫理に関する問題や、Stericycleポリシーや法律に関する違反と思われる事例を提起した際に、報復行為がないことを保証することがStericycleの方針です。

## 6.2 本ポリシーに違反した場合の影響

適用される反汚職法に違反した場合、民事上および刑事上の厳しい処罰を受ける可能性があります。本ポリシーおよび手順に違反した場合、もしくは違反や違反と疑われる事例を報告しなかった場合、それは違法となる可能性があります、さらに雇用の終了を含む処罰を受けることがあります。また特別に指名されたチームメンバーおよび役員は、毎年本ポリシーを読み、その規定を遵守していることを証明するよう求められます。

## 7.0 ポリシーと手順 業務倫理規範

ビジネス儀礼ポリシー

**8.0 追加情報・解釈の要請** 本ポリシーに関してご質問がある場合は、経営倫理部門 [EthicsAandCompliance@stericycle.com](mailto:EthicsAandCompliance@stericycle.com) までお問い合わせください。

## 9.0 修正・修正履歴

修正番号	3
発効日	2017年9月18日
最終確認日	2018年10月10日
次回の確認日	2020年10月

関連する法律に変更がなく、ビジネスニーズによってより多くの見直しや修正が必要とされない限り、本ポリシーは2年ごとに見直され、承認される必要があります。見直しは、本ポリシーの有効性を評価し、必要に応じて強化を提案するものです。経営倫理部門は本ポリシーの見直しと更新、および以前のバージョンの管理に責任を持ちます。